

0歳から使える「サポートブック」

難聴の子を持つ家族会そらいろ 第16回定例会「サポートブックの利活用に関して」

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和、以下「そらいろ」）は、「わからないことが多いと言われている難聴児の子育て」をめぐる課題解決に向けて活動しております。このたび10月18日（日）に、「サポートブック」をテーマとした第16回定例会を実施することとなりましたので、お知らせいたします。

「サポートブック」(※1)とは、成長していく上で細やかな配慮などが必要な子どもたちが、乳幼児期から成人期までのライフステージで途切れることなく一貫した支援を受けられることを目的とし、保護者と関係機関が子どもの情報を共有するためのツールです。その概要や活用方法を学ぶべく、今年2月に大阪府から関係者を招いてワークショップ「サポートブックをつくってみましょう」を株式会社D.L.S（福岡市、代表取締役 梶本真佑）(※2)と共催いたしました(※3)。

2020年2月開催「サポートブックをつくってみましょう」:当日の様子、使用した資料の一部



今回、その内容に関してより具体的・実践的に学ぶべく「サポートブックの利活用」を定例会のテーマに設定。前半は講義形式にてサポートブックの目的、保育園や幼稚園、学校等での使い方に関して理解を深めます。後半は実際に1、2テーマに関して記入・メンバーで共有するワークショップを実施し、最終的に各家庭で活用できるようになることを目指します。当家族会は今後も定例会などを通じて、難聴児の子育てをしやすい環境づくりや難聴理解を広げる活動を展開してまいります。

(※1) 各自治体独自に用意されたツールで、どれを使用しても可。福岡県では『ふくおか就学サポートノート』を展開。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/support.html>

(※2) 放課後等デイサービス「スケッチブック」を運営。<http://dis-afterschool.com/>

(※3) 詳細は下記 URL「プレスリリース」ページからご覧いただけます（サポートブック作成ワークショップの報告_2020.2.5）

<https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>

【第16回定例会の概要】

日 時：2020年10月18日（日）10:00～12:00

会 場：福岡市立心身障がい福祉センター（あいあいセンター）7F ボランティア室

内 容：サポートブックの利活用に関して

【本件に関するお問い合わせ先】

難聴の子を持つ家族会 そらいろ <https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>

担当：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp